

狭山市立柏原小学校 ICT 授業実践例

1 ジャンル

小学校6年生

体育

C1 発表や話し合い

教員と児童生徒

2 概要

自分の走り高跳びの助走やフォームの確認のため、友達にGIGA端末で動画を撮影してもらい、その動画を見て、フォームの確認やよりよくするためにどうすればよいのか考え、実践につなげた。

授業終了後、撮影した動画を提出させ、その動画を担任が紹介しながら、よいフォームを学級で共有した。

また、提出された動画を見て担任が評価をするのに役立てた。

単元(題材)名

走り高跳び

単元(題材)目標

リズムカルな助走からの走り高跳びをしよう。

活用したICT機器、アプリケーション等

GIGA端末、Skyメニュー(提出箱)

本時のめあて

リズムカルな助走やフォームに気を付けて跳ぼう。

本時の展開の概要

1番低い高さ(75cm)で慣らした後、自分に合った高さを選択し、そこでGIGA端末を使って動画を撮影し、自分の助走やフォームを確認し、次の跳躍に生かす。

写真・記録



ICT機器の活用でねらった効果

自分自身の助走やフォームを客観的に見ることができるので、どこを改善し跳躍すればいいのかわかり、次に生かすことができる。

児童生徒の様子(成果や課題)

- 自分の動きを客観的に見ることができ、次の跳躍に生かすことができた。
- ピントを合わせるのに時間がかかった。
- 内蔵のカメラで動画を撮影した場合、普段使っている教師用のPCでは容量が足りず、再生できなかった。そのため、子供たちと同じGIGA端末で動画を再生して、共有した。
- 内蔵カメラで30秒ほど撮影した動画を、スカイメニューにログインしてアップロードさせようと思ったが、容量が多くてアップロードができなかった。短い時間の動画であれば使えるが、長い動画だと使いにくい。

狭山市立柏原小学校 名前: